

緑の産業再生プロジェクト 島根県研修に参加しました

C材・D材の活用方法を模索する、先進地島根県の林業の様子を見てきました

平成25年10月9日～10日、鳥取県緑の産業再生プロジェクト島根県研修に参加しました。林業の振興に欠かすことのないC材、D材の活用方法について見学をしてきました。

まず島根県邑智郡美郷町の(有)山興緑化さん。廃材、間伐材、木屑を利用して土壌改良剤を製造しています。林地残材のチップ化、堆肥化による積極利用で木材利用の拡大を図っています。

中部電力三隅火力発電所では、既存の石炭ボイラーにて木質チップを混焼燃させる『林地残材バイオマス石炭混焼発電実証試験』をふまえて、2%の混焼稼働を行っています。既存ボイラーへの影響を踏まえての控えめな数字ではありますが、CO2の削減、地域資源の活用、地域環境の整備と、大きな影響を与えています。

最後に、益田市の伸和産業(株)にて、移動式チップパーマシンの見学と、三隅火力発電所へのチップ納入業者(島根県素材流通協同組合)について、事業内容等の説明を受けます。

鳥取県に於いても、木質バイオマス発電の事業が動き出ししており、事業化の際にはバイオマス納入業者としての積極的な関わりが求められます。客先要求に対する質量価格への配慮のみならず、例えば納入時のトラック等の動線までを見据えた事業参加が必要となります。

今回の先進地視察では、鳥取の今後の林業について多く考える機会となりました。



森のめぐみ感謝市 -米子木材市場生山支店-

10月23日に開かれました

10月23日、米子木材市場生山支店において、森のめぐみ感謝市が開催されました。市況は下記の通りです。

杉(4.0m) 26～30cm 12.0(千円)

檜(4.0m) 16～18cm 20.0(千円)

檜の出荷量は今年で一番の量となりました。(檜 1,057.338m³ 杉1,715.641m³)

